

令和 6 年 8 月 9 日

加 賀 市 長
(担当 総務部管財課)

見 積 依 頼 書

下記のとおり見積徴収を行いますので、見積書を提出されるようお願いします。

物 件 名 等	九谷焼美術館 入館者リーフレット
見積提出期限 及 び 場 所	令和 6 年 8 月 19 日 午前 11 時 30 分 加賀市役所 総務部 管財課
見 積 書 宛 名	加賀市長 宮元 陸
納 入 期 限	令和 6 年 10 月 31 日
納 入 場 所	石川県九谷焼美術館
落 札 方 法	総価落札
注 意 事 項	1 指定日時までに提出されない場合は、見積をご辞退されたものと解釈させていただきます。 2 会社にあっては社印、代表者印を、個人についても記名捺印をお願いいたします。 伺 番 号 第 0000184 号

品 目 明 細

年 度 令和 6 年度

件 名 九谷焼美術館 入館者リーフレット

伺 番 号 0000184

1 / 1

No.	品 名	印刷製本（単位：枚）	分類番号	002-002-000
1	規 格	九谷焼美術館 入館者リーフレット（別紙仕様書のとおり）		
	数 量	30,000 枚		
No.	品 名		分類番号	
2	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
3	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
4	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
5	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
6	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
7	規 格			
	数 量			

印刷仕様書

教育委員会 石川県九谷焼美術館

件名	九谷焼美術館 入館者リーフレット		
紙質	マットコート 110K 別添（見本）のとおりに 現物見本は管財課にあります。		
印刷	両面カラー		
規格	A4 サイズ三つ折		
形状	見本準拠		
数量	30,000部	校正	要
納入期限	令和 6 年 10 月 31 日	納入場所	石川県九谷焼美術館
その他連絡事項 (校正担当課 石川県九谷焼美術館 担当者 上田) 1. データ提供する文字原稿、画像を元にデザイン案を2案作成すること。 2. リーフレットに使用する展示室見取り図、地図等の作図などデータ作成をすること。 3. デザインは「九谷焼専門の美術館」のリーフレットであることを考慮し、美術館担当者の意図を理解し、ポイントを押さえたものとする。 4. 初回打ち合わせ後に納品までのスケジュールを美術館担当者と話し合い決定すること。 5. 最終校正（校了時）まで校正は5回程度とする。 6. プリントパックなど、ネット注文による印刷はしないこと。 7. 最終色校正はデータではなく、出力した見本（本紙）を提出すること。 ※窓あき封筒の場合、窓の部分は「グラシン紙」または「植物を原料とするプラスチック」を使用すること。 ※発注業務にかかる特許等を使用する場合は、受注業者において実施許諾を受けていること。なお、受けている場合は許可番号を表示すること。 ※納入に際しては、事前に担当課の確認を受けた上で、納入場所へ納入し納品書に受領者印をもらって管財課へお出してください（原稿及び見本は担当課に返してください）。 ※納入期限は厳守してください。			

各展示室に庭を持ち、
中庭を中心として回遊することで
庭園を散策する気分で作品に
めぐり合うことができます。



青手土壁に牡丹図大平鉢
(古九谷)

ミュージアム

建物は、大聖寺藩の城下町の「山の下寺院群」、「古九谷の杜親水公園」に連続しています。かつて古九谷が生まれ、愛された、大聖寺の光と風の中、季節感のある空間で九谷焼と向き合ってください。



交通のご案内



主なアクセス

- ・JR大聖寺駅から徒歩で8分
- ・JR加賀温泉駅から
キャンパス海まわり線で18分
- ・加賀ICから車で10分
- ・小松空港から車で30分

美術館利用のご案内

開館時間 ◆…… 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 …… 月曜日(祝日は開館)・展示替え等による臨時休館日
※年末年始は開館します。(12/28～1/3)

茶房古九谷・ミュージアムショップ営業時間
…9:30～17:30 茶房の問い合わせ先 TEL 0761-72-6366

建築概要 / 鉄筋コンクリート造2階建
設 計 / (株)象設計集団
開 館 / 平成14(2002)年



〒922-0861 石川県加賀市大聖寺地方町1-10-13 TEL 0761-72-7466



石川県九谷焼美術館
KUTANIYAKI ART MUSEUM



青手の間

AOTE ROOM

山村の民家のような黄色い土壁、山のアトリエのような片流れの天井が特徴です。主に緑・黄・紺青・紫の四彩を用い、奔放な筆づかいで独特の世界が広がる青手の古九谷や、その後を受け継ぎさらに昇華させた吉田屋敷や松山窯などの名品を紹介します。

中庭 Courtyard

柏の高木が、新緑、紅葉、雪の華、木もれ陽によって、四季の変化や時のうつろいを伝えます。縁起がいい柏は、その葉が昔は蒸した米や餅が盛られた食器でした。



青手土壁に牡丹図大平鉢 (古九谷)

南庭 Southern garden

美術館の正面入口に向かって左側の庭には、窯の焼成の燃料となる赤松、釉薬(うわぐすり)となるいつき灰の原料となる山法師が植えられています。



企画展示室

Temporary Exhibition Room

入口正面の壁面には、古九谷窯跡に面する大聖寺川上流の川床から採取した石を埋め込んであります。地層のような左官表現が九谷村の風景を思い起させます。南北の白い壁面は、九谷陶土を用いた土壁です。ここでは九谷焼を中心とする様々な切り口の企画展を開催します。

色絵・五彩の間

IROE・GOSAI ROOM

大聖寺藩主3代利直の休息所「長流亭」の上の間を模した空間を中心に、ベンガラ漆の柱や浅黄の大津壁、加賀友禅の布天井などが、あでやかな雰囲気を出しています。ここでは九谷五彩とよばれる赤・緑・紫・紺青・黄で山水、花鳥風月、人物などを優雅に描いた色絵の名品の数々を紹介しています。



北庭

Northern garden

南の光を受ける浅黄しついく壁に株立ちの夏椿、つややかな肌の令法の影が映ります。地面には大聖寺川の小玉石で亀甲文様が表されています。

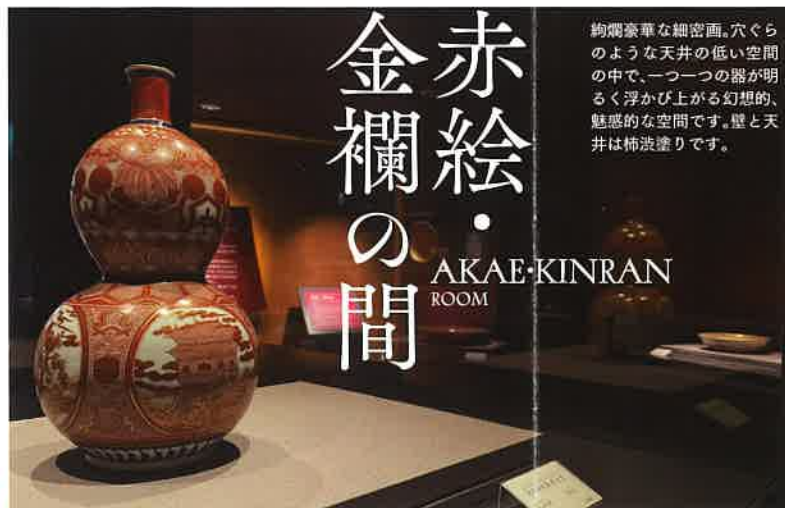
ライブラリー Library

収蔵品をはじめ、全国の美術館で所蔵する古九谷の名品など約200点をデジタルデータで紹介しています。地元の名工や窯についての詳細な情報も網羅しています。タッチパネル式のやさしい操作で作品画像を閲覧することができます。

光を感じる庭園ミュージアム

東庭 East garden

低い窓から小さな水の庭が望まれ、水面のゆらぎが天井に映ります。秋には池に落ちるもみじが美しく、冬には池の石が綿帽子をかぶります。



赤絵・金襴の間

AKAE・KINRAN ROOM

絢爛豪華な細密画。穴ぐらのような天井の低い空間の中で、一つ一つの器が明るく浮かび上がる幻想的、魅惑的な空間です。壁と天井は柿波塗りです。

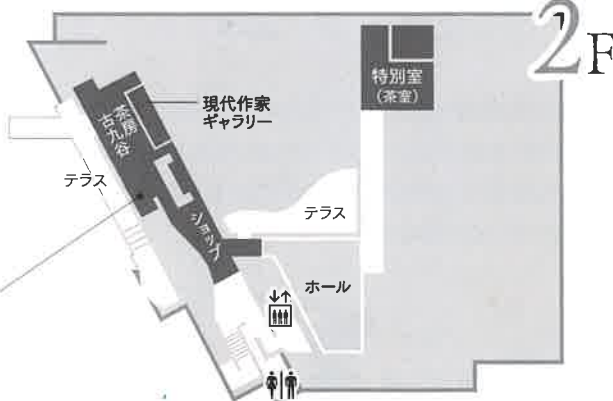
回廊 Gallery

右手には四季折々の表情を見せる中庭、左手には大聖寺の歴史と九谷焼の流れを紹介。自然とけあうように建つ当美術館の世界へやさしく誘います。



茶房 古九谷 Café

江戸時代から続く九谷焼を鑑賞した後は、現代作家のうつわで季節のお茶やお菓子をおたのしみください。



ミュージアムショップ

Museum Shop

オリジナルのミュージアムグッズをはじめ、現代の九谷焼作家の作品を購入することができます。